

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品の名称	業務用アースレッドE
整理番号	G14441-0
会社名	アース製薬株式会社
住所	〒101-0048 東京都千代田区神田司町二丁目 12 番地 1
担当部門	開発薬事部
電話番号	03-5207-7464
FAX番号	03-5207-7485
作成／改訂年月日	2024年11月19日 作成

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

GHS分類の有害性情報は、駆除成分と発熱剤から構成される製品1缶中のつなぎの原則による算出結果で評価。詳細については11項、12項を参照。

健康に対する有害性	皮膚腐食性／刺激性 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 呼吸器感作性 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1 区分1 区分1 区分1 (呼吸器系) 区分2 (全身毒性、消化器、神経系) 区分1 (呼吸器系) 区分2 (神経系)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性） 水生環境有害性 長期（慢性）	区分1 区分1

上記で記載がない危険有害性は、分類できないか区分に該当しない。

#### GHSラベル要素

#### 絵表示またはシンボル



#### 注意喚起語

#### 危険有害性情報

#### 危険

- H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
- H318 重篤な眼の損傷
- H334 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ
- H370 臓器の障害（呼吸器系）
- H371 臓器の障害のおそれ（全身毒性、消化器、神経系）
- H372 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器の障害（呼吸器系）
- H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器の障害のおそれ（神経系）
- H400 水生生物に非常に強い毒性
- H410 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

#### 注意書き

#### 【安全対策】

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

- P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
- P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P284 【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

#### 【応急措置】

- P301+P330+P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- P303+P361+P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。
- P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P308+P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- P310 直ちに医師に連絡すること。
- P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- P321 特別な処置が必要である。
- P342+P311 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
- P363 汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- P391 漏出物を回収すること。

#### 【保管】

- P405 施錠して保管すること。

#### 【廃棄】

- P501 内容物／容器を自治体の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

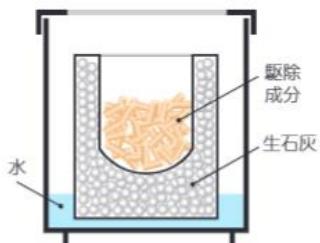
単一製品・混合物の区別 混合物

＜駆除成分＞

成分名称	CAS 番号	駆除成分中の配合率
d-T80-シフェノトリン	39515-40-7	3.0%
アゾジカルボンアミド	123-77-3	非開示
他 2 成分	非開示	非開示

製品 1 缶中（下図）には駆除成分の他に、水と反応する発熱剤（生石灰：酸化カルシウム）を含む。

GHS 分類の有害性情報は、駆除成分と発熱剤から構成される製品 1 缶中のつなぎの原則による算出結果で評価。



＜製品使用時の説明画像＞

### 4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 異常が残る場合は医師に相談する。
皮膚に付着した場合	水で洗い流す。異常が残る場合は医師に相談する。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。異常が残る場合は眼科医に相談する。
飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄する。異常が残る場合は医師に相談する。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	泡 (初期火災)、二酸化炭素、粉末
使ってはならない消火剤	情報なし

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法 及び機材	電気掃除機、ほうき等で掃き集める。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
安全取扱注意事項	ご使用に際して、説明文書を必ずお読みください。 薬剤を吸い込まないように注意してください。万一吸い込んだ場合、咳き込み、のど痛、頭痛、気分不快等を生じることがあります。 アレルギー症状やかぶれなどを起こしやすい体质の人、病人、妊婦、子供は薬剤（煙）を吸い込んだり、触れないようにしてください。 使用後、必ず2時間以上経過してから部屋に入り、換気してください。換気の際は、必ずタオルなどで口や鼻を押さえて、薬剤を吸い込まないようにしてください。 容器に水を入れ、缶をセットしたら、すみやかに部屋の外に出て、戸を閉め切ってください。所定時間（2時間以上）経過しないうちに入室しないでください。 缶は水に浸すとすぐに熱くなるので、直接手を触れないでください。ヤケドをする恐れがあります。 使用する部屋や家屋から薬剤が漏れないように注意してください。 使用後は、部屋を十分に換気してから入室してください。 換気の際は、必ずタオルなどで口や鼻を押さえて薬剤を吸い込まないようにしてください。 萬一身体に異常が起きた場合は、直ちに説明文書を持って本品がピレスロイド系薬剤であることを医師に告げて、診療を受けてください。 定められた使用方法、使用量を守ってください。 皮膚、目など人体にかかるないようにしてください。薬剤が皮膚についた場合は、石けんと水でよく洗ってください。また、目に入った場合は、直ちに水でよく洗い流してください。 火災報知器が作動することがあります。使用にあたり、法令に基づいて設

置している消防用設備の電源を切ったり、ポリ袋で覆いをし足りりするなどの措置が必要になりますので、使用する前には所轄の消防署に相談してください。使用する際、火気の管理には十分注意し、処理後は速やかに消防用設備を元通りにしてください。

飲食物、食器、飼料、衣類、美術品、寝具、銅やシンチュウ製のもの、はがねの包丁などに薬剤がかからないようにしてください。

本品は、ふとんなど寝具の害虫駆除には使用しないでください。

#### 保管

安全な保管条件

直射日光（車の中等）や火気を避け、子供の手の届かない涼しいところに保管すること。

安全な容器包装材料

製品使用容器に準ずる。

### 8. ばく露防止及び保護措置

保護具

必要によりマスク、保護手袋／眼鏡／服等の適切な保護具を着用

### 9. 物理的及び化学的性質

#### 物理状態

本製品は駆除成分の充てん部および発熱剤の充てん部に分けられた2重缶から構成され、内包装袋で包装されたものが外装容器に収容されている。

色

淡黄色～黄橙色（駆除成分）

臭い

蒸散時に特異な臭いがする。

沸点又は初留点及び沸点範囲

情報なし

可燃性

情報なし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

情報なし

引火点

情報なし

自然発火点

情報なし

分解温度

情報なし

pH

情報なし

動粘性率

情報なし

蒸気圧

情報なし

密度及び／又は相対密度

情報なし

相対ガス密度

情報なし

粒子特性

情報なし

### 10. 安定性及び反応性

反応性

反応性なし

化学的安定性

製品として3年間の安定性が推定されている。

危険有害反応可能性

情報なし

避けるべき条件

熱（特定温度以上の加熱など）、圧力、衝撃、静電放電、振動、他の物理的応力など

混触危険物質

情報なし

危険有害な分解生成物

情報なし

### 11. 有害性情報

急性毒性 経口毒性 (LD<sub>50</sub> 値)

マウス 2,000 mg/kg 以上

皮膚腐食性／刺激性

酸化カルシウム区分1のため\*

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	酸化カルシウム区分1のため*
呼吸器感作性又は皮膚感作性	アゾジカルボンアミド呼吸器感作性区分1のため*
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
発がん性	区分に該当しない
生殖毒性	区分に該当しない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	酸化カルシウム区分1 (呼吸器系)、区分2 (全身毒性、消化器) のため*
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	d-T80-シフェノトリン区分1 (神経系) のため*
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	酸化カルシウム区分1 (呼吸器系) のため*
誤えん有害性	d-T80-シフェノトリン区分1 (神経系) のため*
	区分に該当しない

\* 駆除成分と発熱剤から構成される製品 1 缶中のつなぎの原則による算出結果で評価。

## 1.2. 環境影響情報

製品としての環境有害性情報：製品としての情報なし	
生態毒性	水産動物への影響 (原体データ) (d-T80-シフェノトリン) コイ: LC50 (96h) 5.65 $\mu$ g/L ニジマス: LC50 (96h) 0.34 $\mu$ g/L オオミジンコ: LC50 (48h) 0.43 $\mu$ g/L 緑藻: ErC50 (72h) > 0.014mg/L 緑藻: NOEC (72h) 0.0050mg/L ニジマス: NOEC 0.54 $\mu$ g/L オオミジンコ: NOEC 0.038 $\mu$ g/L
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

## 1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	製品に記載された方法や内容物を各自治体で定められた規則に従って廃棄すること。
汚染容器・包装	空容器やフィルム等は各自治体で定められた規則に従って廃棄すること。

## 1.4. 輸送上の注意

国連番号	UN 1910
品名	酸化カルシウム
国連分類	8
副次危険性	-
容器等級	III
国内規制がある場合の規制情報	船舶で輸送する場合、非危険物として扱うこと。 航空機で輸送する場合、生石灰に由来する国連番号 1910 (酸化カルシウム、等級 8、容器等級III) にて扱うこと。

## 1.5. 適用法令

化管法	該当しない
-----	-------

労働安全衛生法	酸化カルシウム（発熱剤） 名称等を表示すべき危険有害物（法第57条、施行令第18条別表第9） 名称等を通知すべき危険有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）  駆除成分中に2,6-ジ-t-ブチル-4-クレゾール、トルエンを含むが、製品中では 裾切値未満のため該当しない。（裾切値0.1%未満）  特定化学物質障害予防規則、鉛中毒予防規則、四アルキル鉛中毒予防規則、有機 溶剤中毒予防規則、石綿障害予防規則には該当しない。
毒劇物取締法	該当しない
化審法	該当しない
消防法	該当しない
薬機法	該当しない
農薬取締法	該当しない
高压ガス保安法	該当しない

## 16. その他の情報

記載内容は現時点での入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。



ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるように大切に保存してください。

加熱蒸散害虫駆除剤

# 業務用アースレッドE 100g

内容量  
100g

- ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
- 湿気を避け、子供の手の届かない涼しいところに保管してください。
- 子供や第三者の監督が必要な方の誤食を防ぐため、保管場所に注意してください。
- 有効成分:d-T80-シフェノトリン(ピレスロイド系)

アース製薬株式会社 ARS

〒101-0048

東京都千代田区神田司町2-12-1



4 901080144416

## 適用害虫

ユスリカ、チョウバエ、ショウジョウバエ、ノシメマダラメイガ、シバンムシ、チャタムシ、コクゾウムシ、カツオブシムシ、カメムシ、ヒラタコクヌストモドキ、ダンゴムシ、フラジムシ、ムカデ、アリ

## 使用量

各害虫の駆除には次の使用量をお守りください。  
●100g缶:60~80畳(100~130m<sup>2</sup>)

## 特長

- 水を使うタイプの加熱蒸散害虫駆除剤です。
- ミクロの粒子が部屋のすみずみまでしっかり行き渡ります。
- 火を使わないので火災の心配がありません。
- 白煙が少なく室内を汚しません。家具(戸棚、タンス、机など)、室内装飾(天井、壁、カーテン、カーペットなど)を汚染、変色させることが少なく、降灰もありません。

## ⚠ 使用上の注意

## してはいけないこと (守らないと副作用・事故が起こりやすくなります) 本品は食べられません

- 薬剤を吸い込まないように注意してください。蒸散した薬剤には強い刺激があるので、万一吸い込んだ場合、咳き込み、のど痛、頭痛、気分不快等を生じることがあります。
- アレルギー症状やかぶれなどを起こしやすい体质の人、病人、妊婦、子供は薬剤(煙)を吸い込んだり、触れないようにしてください。
- 使用後、必ず2時間以上経過してから部屋に入り、換気してください。換気の際は、必ずタオルなどで口や鼻を押さえて、薬剤を吸い込まないようにしてください。
- 容器に水を入れ、缶をセットしたら、すみやかに部屋の外に出て、戸を閉め切ってください。所定時間(2時間以上)経過しないうちに入室しないでください。
- 缶は水に浸すとすぐに熱くなるので、直接手を触れないでください。ヤケドをする恐れがあります。
- 使用する部屋や家屋から薬剤が漏れないように注意してください。
- 使用後は、部屋を十分に換気してから入室してください。
- 換気の際は、必ずタオルなどで口や鼻を押さえて薬剤を吸い込まないようにしてください。

## 相談すること

- 万一身体に異常が起きた場合は、直ちにこの文書を持って本品がピレスロイド系薬剤であることを医師に告げて、診療を受けてください。

## その他の注意

- 定められた使用方法、使用量を守ってください。
- 皮膚、目など人体にかからないようにしてください。薬剤が皮膚についた場合は、石けんと水でよく洗ってください。また、目に入った場合は、直ちに水でよく洗い流してください。
- 火災報知器が作動することがあります。使用にあたり、法令に基づいて設置している消防用設備の電源を切ったり、ポリ袋で覆いをしたりするなどの措置が必要となりますので、使用する前には所轄の消防署に相談してください。使用の際、火気の管理には十分注意し、処理後は速やかに消防用設備を元通りにしてください。
- 飲食用、食器、飼料、衣類、美術品、寝具、銅やシンチュウ製のもの、はがねの包丁などに薬剤がかからないようにしてください。
- はく製、毛皮、和服(金糸、銀糸の入ったもの)などは、変色したりシミになることがあるので、ポリ袋に入れるか覆いをするなどして、直接薬剤がかからないようにしてください。
- 小鳥などのペット類、観賞植物はしっかり換気するまで部屋の外に出してください。また、観賞魚や観賞エビはエアーポンプを止めて完全密閉(水槽に覆いをして、ガムテープなどで密閉)するか、しっかり換気するまで部屋の外に出してください。
- はがね製品、銅やシンチュウ製のものは変色することがあるので、覆いをするか部屋の外に出してください。
- 故障の原因となるので、パソコン、テレビ、ゲーム機器、オーディオ・ビデオ製品などの精密機器にはカバーをかけ、テープ、ディスクなどは箱に収納してください。(大型コンピュータの設置されている部屋では使用しないでください。)
- 本品は、ふとんなど寝具の害虫駆除には使用しないでください。

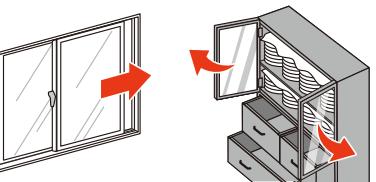
## 保管及び取扱い上の注意

- 湿気を避け、涼しい所に保管してください。
- 子供や第三者の監督が必要な方の誤食を防ぐため、保管場所に注意してください。
- 使用後の缶は、各自治体の定める方法に従って適切に廃棄してください。その際、缶に水をかけないでください。未反応の薬剤が残っていた場合は発熱し、蒸散する恐れがあります。缶はスチール、袋とトレー(水容器)はプラスチックです。

## 使用方法

## 1 使用前に準備すること

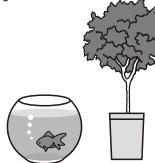
- 1 部屋を閉めきり、戸棚、引き出しなど害虫のかくれ場所になる所を開放してください。食器棚の食器は新聞紙などで覆ってください。



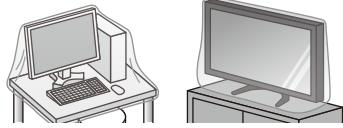
- 2 飲食物、食器、飼料、衣類、美術品、寝具、銅やシンチュウ製のもの、はがねの包丁などは、ポリ袋に入れるか、新聞紙などで覆うなどしてください。



- 3 水生生物(金魚・熱帯魚など)は、エアーポンプを止めて完全密閉(水槽に覆いをして、ガムテープなどで密閉)するか、しっかり換気するまで部屋の外に出してください。使用後十分に換気をした後、ビニールを取り、エアーポンプを動かしてください。室外に出した水槽は、使用後十分に換気をした後で元に戻してください。小鳥などのペット類や植物、観賞魚などは、換気と掃除が終わるまで部屋の外に出してください。



- 4 パソコン、テレビなど精密機器にはカバーをかけ、ディスクなどは箱に収納してください。



- 5 火災報知器はポリ袋などで隙間が出来ぬよう覆いをしてください。



使用後は必ず元に戻してください

⚠ 大型コンピュータの設置されている部屋では使用しないでください。  
移動できない水槽は、エアーポンプを止めて、ビニールで覆いをし、ガムテープで止めるなどして、完全密閉してください。

## 2 アースレッドEを使用する

- 1 アルミ袋を開け、缶をそのまま取り出してください。

※缶の赤いシールは、はがさないようにしてください。  
※使用直前に開封してください。  
(開封した状態で長時間放置すると、空気中の水分で少しづつ反応が進み、蒸散不良となります。)



- 2 水をトレー(水容器)の底から約1cmの段のところまで入れてください。

(入れ過ぎると、十分に蒸散しないことがあります。)

水の量 約100mL

段 約1cm



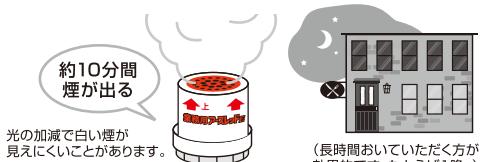
水を入れたトレー(水容器)を部屋のほぼ中央に置き、缶の赤いシール面を上にして水中に入れてください。

(約1~2分で蒸散がはじまります。缶は熱くなりますが、ふれないでください。缶は約30分でさめます。)※マッチなどの火気は使用しないこと。



- 3 缶をセットしたら部屋の外に出して、2時間以上部屋を閉め切ってください。蒸散後、部屋に広がった白煙(蒸散成分)がすみずみまで行き渡り、駆除効果を発揮します。

※薬剤が蒸散すると、缶の内部に薬剤の残りとして黒く溶解したような固形物が残ります。



## 3 ご使用のあとで

⚠ 注意

2時間以上経過してから入室してください。

蒸散した薬剤には強い刺激があるので、換気の際は、必ずタオルなどで口や鼻を押さえて薬剤を吸い込まないようにして入室してください。

①使用後はおいが気にならなくなる程度(1時間程度)しっかり換気してください。②小さな虫の死骸などをとり除くため、軽く掃除機をかけてください。③食器などに直接薬剤がかかった場合は、水洗いしてからご使用ください。④衣類に薬剤がかかった場合は、ブラッシングするか天日干しを行ってください。⑤使用後の缶は各自治体の定める方法に従って適切に廃棄してください。缶はスチール、袋とトレー(水容器)はプラスチックです。

## ワンポイント

○お使いの際は、各部屋に1個配置し、全部屋同時使用が効果的です。

水を入れたプラスチック容器をまず先に各部屋にセットし、その後奥の部屋から順に薬剤缶を水につけていってください。

詳しい使用方法の  
動画はこちら

